

知多市下水道事業ウォーターPPP導入(案) に関するマーケットサウンディング (事業スキームに係る説明会)結果

知多市下水道課

目次

- ・ アンケートの実施について.....3
- ・ アンケート結果4
- ・ 最後に11

アンケートの実施について

概要

当市では現在、ウォーターPPPの導入検討を進めております。
導入の検討にあたり、知多市ウォーターPPP導入に関し、民間事業者の皆さまのご意見を広く募集するため、マーケットサウンディング(事業スキームに係る説明会)を実施いたしました。

実施方法

Googleフォーム

実施期間

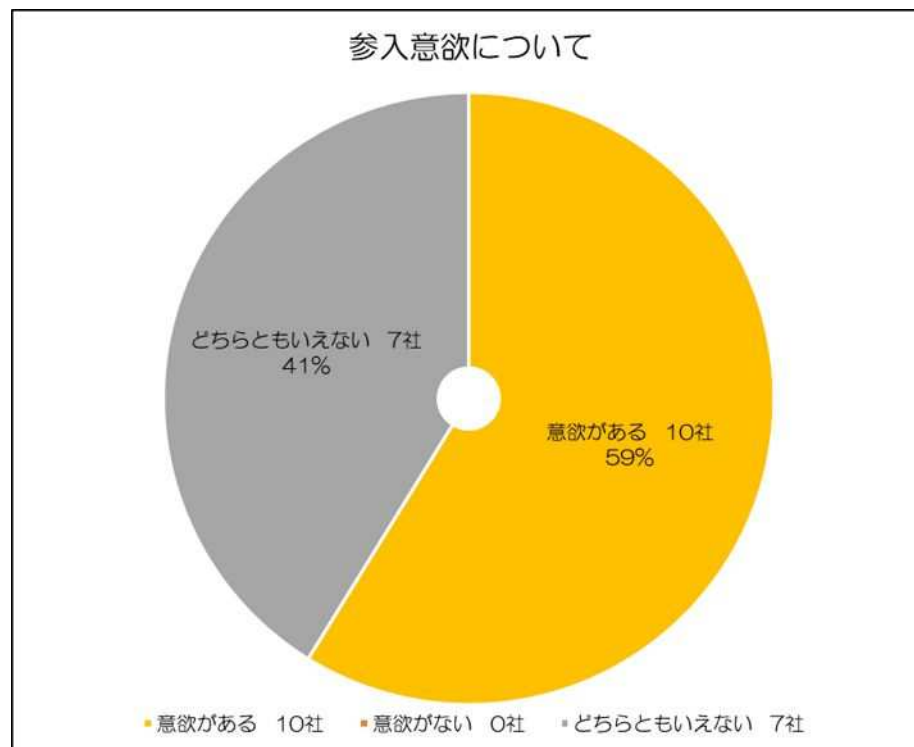
令和8年7月2日～令和8年7月17日

回答企業数

- 参加企業数 29社
- 回答企業数 17社
 - ◆ 市内企業 3社(うち、建設:2社、維持管理:1社)
 - ◆ 県内企業 11社(うち、建設:3社、維持管理:6社、コンサル:2社)
 - ◆ 県外企業 3社(うち、建設:1社、維持管理:1社、その他:1社)

アンケート結果

1. 参入意欲について



【17/17社の回答】

【結果】

参入意欲については、10社/17社（59%）から「意欲がある」と回答があった。
また、7社/17社（41%）から「どちらともいえない」と回答があった。

アンケート結果

1. 参入意欲について

【意欲があると回答した方の回答選択理由】

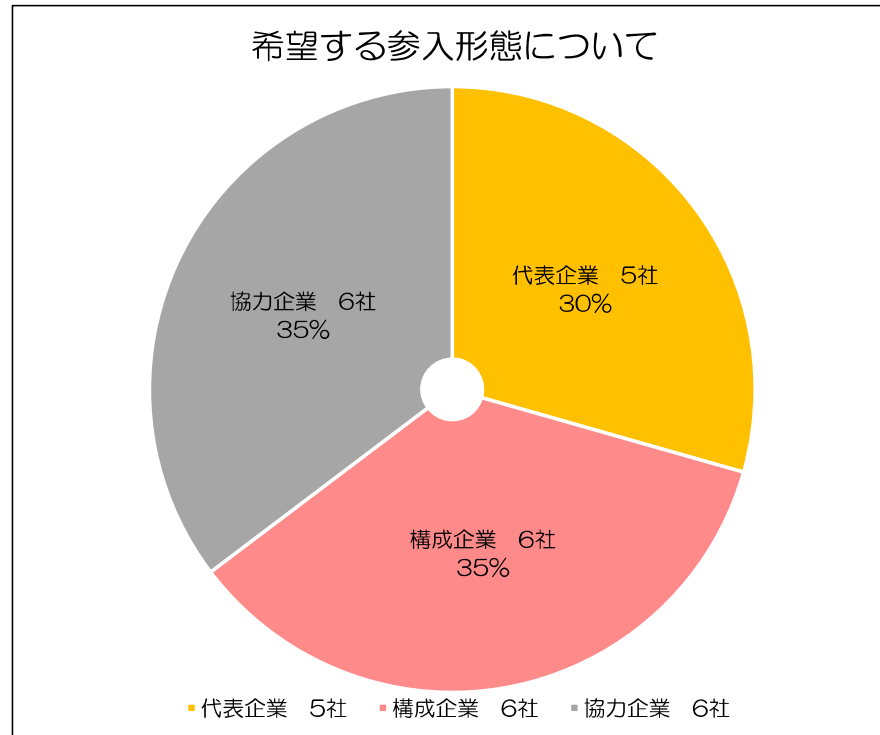
理由
地域での事業拡大および地域貢献を目的としているため。
下水道分野に関する豊富な実績と技術的知見を本事業へ活かせるため
デジタルソリューション等の専門技術で事業の効率化に貢献できるため。

【どちらともいえないと回答した方の回答選択理由】

理由
実施方針などの詳細条件を確認したうえで判断したい。
人手不足の観点から、長期的な人員体制の確保を見極める必要がある。
自社の役割（構成企業が協力企業か）や、会社全体の方針が未決定である。

アンケート結果

2. 希望する参入形態について



【17/17社の回答】

【結果】

希望する参入形態については、5社/17社（30%）から「代表企業」と回答があった。
また、6社/17社（35%）から「構成企業」、6社/17社（35%）から「協力企業」と回答があった。

アンケート結果

2. 希望する参入形態について

【代表企業と回答した方の回答選択理由】

理由
代表企業の実績を全国で有するため。
実績を活かし、事業運営の中核を担いたい。

【構成企業と回答した方の回答選択理由】

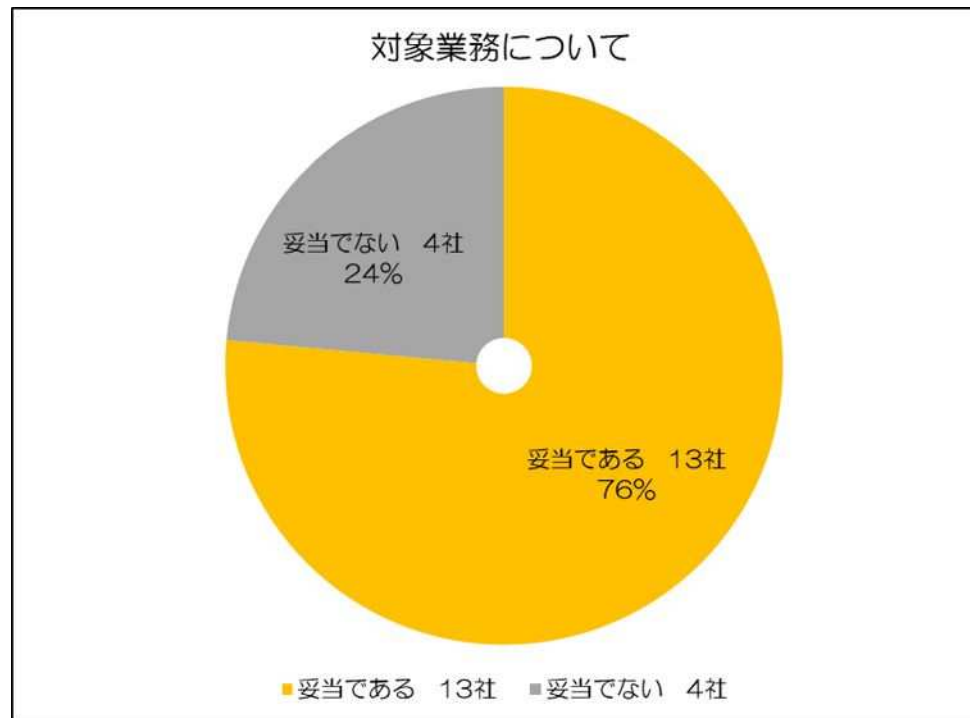
理由
自社が得意とする特定の分野を主導的に担うことが、事業の安定的な遂行につながると考えているため。
想定される事業スキームや業務規模に照らし合わせると、代表企業として全体を統括するよりも、構成企業として専門的な役割を担うのが現実的で妥当だと判断しているため。

【協力企業と回答した方の回答選択理由】

理由
公共工事に関する包括的な実績やリソースの観点から、代表・構成企業として参画するにはハードルがある一方、特定の業務範囲であれば十分な役割を果たせると判断したため。
デジタル技術の活用や特定機材の提供など、自社の持つ強みである技術領域に特化して貢献できると考えているため。

アンケート結果

2. 対象業務について



【17/17社の回答】

【結果】

対象業務については、13社/17社（76%）から「妥当である」、4社/17社（24%）から「妥当でない」と回答があった。

アンケート結果

2. 対象業務について

【妥当であると回答した方の回答選択理由】

理由
保有する専門機材、人員、技術、およびこれまでの実績と今回の対象業務が合致しており、役割を十分に発揮できると判断したため。
日常的に行っている業務の延長であり、自社の専門分野や今後の事業方針と整合性が高いため。
提示された対象業務は、ウォーターPPP導入の初期段階として、円滑な実施が期待できる妥当な範囲であると認識しているため。

【妥当でないと回答した方の回答選択理由】

理由
具体的に何ができるかの判断がつかない。
自社が関心を持つ特定の工種（管更生など）が、本事業においてどのような位置付けで対象となっているかが不明確であるため。

アンケート結果

3. その他のご意見・ご要望等

【意見・要望】

意見・要望
事業者の構成員に地元市内業者が加わる必要性を感じている。
住民対応業務は、民間企業の判断が苦情につながる可能性があるため、その位置づけについては慎重にご検討願います。
処理場やポンプ場の運転管理の自由度を高めるとともに、管路維持管理に加え施設運転分野についても技術提案を評価対象としていただきたいです。段階的な導入でもよいので、適切なリスク分担のもとで、性能指標（KPI）の達成や改善提案が評価される仕組みをご検討いただきたいです。性能発注型の要素が強い案件となれば、民間事業者の創意工夫が発揮されやすくなり、事業への参画意欲も高まると考えます。
民間の創意工夫を発揮するためデジタル技術の活用が必要と考えます。データ基盤の整備に加え、各アプリケーションの連携を進めることで、データ利活用が可能です。又、更新支援型の受託者となった場合でも、今後の更新工事の参画に影響しないようにお願いします。
性能規定については、民間事業者として創意工夫を発揮できる余地と、現実的な業務遂行の両立が図れる内容となることを期待します。また、統括管理業務や緊急時の一次駆け付け対応など、従来の維持管理業務には含まれていなかった業務や、これまで市が直営で実施していた業務については、必要な人員配置や対応体制を踏まえた適切な費用設定をご検討いただきたいと考えます。

最後に

ご回答いただきました民間企業の皆様につきましては、貴重なご意見を頂戴いたしましたこと、大変ありがとうございます。ご回答いただいた結果について、結果を取りまとめた内容をご報告させていただきます。

今回のアンケート結果については、ウォーターPPPの事業範囲等の検討に活用することを想定しております。

民間企業の皆さまにおかれましては、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。